

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[青山学院大学]

担当教諭名[横山 徹] (3年 3名)

交流相手国[メキシコ]

海外学校名[Universidad Veracruzana] 担当教諭名[黒崎 充]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	専門演習	美術教育	20

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	「主流 (MAINSTREAM)」
絵に込めたメッセージ	壁画は日本とメキシコの過去から現在の時代の流れの特徴を描き、歴史や文化の違いを表している。構図は下描きを基にスカイプでメキシコと話し合いながら決め、メキシコの蛇神ケツァルコアトルと日本の竜を対比させるなどそれぞれの象徴を描いた。絵の中心は太陽を背景にハンドシェイクさせ、明るい未来を表現した。
	

■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・3年間の継続により大学間での学生や教員の交流が進んだことが大きな成果である。 ・フォーラムのほかフェイスブックによる個人レベルの交流も行われ、学生が異文化に興味を持つことができた。 ・アートマイルの東京セミナーで、両校の学生による共同実践報告ができたことは大変意義深いことであった。 ・神奈川大学に交換留学で来日している、昨年のアートマイルメンバーとゼミのメンバーが直接会って親睦を深めることができた。	・スカイプの日程と時間調整に苦労した。 ・過去の実践例とは違うものにしたいという意識が働き、最初の段階でアイデアがまとまりにくかった。 ・限られた時間の中でコミュニケーションをとりながら更に表現の質を高めていきたい。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
アートマイルを契機にメキシコの友達ができただけでなく、学生たちにもグローバルな視野を広げる意識の向上につながった。	学生が主体的に活動意欲を持つための仕掛け作りを意識するようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・学内を背景にビデオレターで自己紹介ビデオを作成。	同年代の大学生同士のフォーラムやSNSを通じた交流から、絵画制作への意欲や直接会いたいという希望が膨らんだ。	専門演習 2
テーマ学習	7月	・アートマイル報告東京セミナーに参加「大学生のアートマイル国際協働学習－青山学院大学×メキシコベラクルス大学－」7/19 ・ゼミの時間を使いベラクルス大学黒崎充先生の講演をしていただく(メキシコの日本語教育、ピラミッドや遺跡発掘)7/20	アートマイルの取り組みや、目指すものについての理解が深まった。他の学校のアートマイル活動についての様子を聞いたり、1枚の壁画から、絵に込められたメッセージを読み解いたりすることが大変刺激になった。	専門演習 2
構図決定	9月	・スカイプでの自己紹介と絵の内容検討 9/15	日本側の下絵を基に、スカイプを使って構図の意見調整を行った。初めてのテレビ会議では緊張していたが、打ち解けるに従って構図のプランがまとまり、翌日からの制作は意欲的に臨むことができた。	専門演習 2
壁画制作	9月 10月	・日本側の壁画制作 9/20～10/1 ・メキシコへ壁画を送付する 10/20	専門演習以外の時間を使って、壁画を制作した。床にベニア板を敷いて描いた。少ない人数ではあったが3人の個性を生かし、連帯感を保ちながら制作に臨み、完成した時の達成感を味わうことができた。	専門演習 12
鑑賞・振り返り	1月	・メキシコから日本へ航空手荷物として帰国される方に託し、大学まで持参していただく。12/21	完成した壁画について、スカイプを使って2時間程度話しあった。まだ決まっていなかったタイトルを決めた。お互いの描いた絵の感想や質問を出しあい有意義な振り返りと、鑑賞が行えた。また、お互いの国の年末年始の過ごし方の違いを実感することができた。	専門演習 2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」 先生が指導に当たって重視したことを ABC で記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」 先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	自分たちの文化について伝えるという活動を通して、改めて日本の良さや伝統について考えることができた。今回の壁画は過去から現在の日本の時代の特徴を描いたので、時代の変化も感じ取ることができた。
異文化の理解	A	4	メキシコへの訪問はなかったものの Facebook を活用した交流を行った。動画や壁画を見ることによりメキシコの理解を深めることができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	スカイプ会議で日本語と英語で会話をした。自己紹介などはしっかり通じたが、絵についての話し合いや説明となると、難しかった。それでも、黒板やホワイトボードを活用して絵で表現し、また工夫したところがよかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	3	自国についてもあまり知らないことが多かった。メキシコ側は、日本に大変興味を持っていてくれたため、相手国に自分たちの国について、もっと知ってほしいという思いが原動力となり、自国のことについて多くのことを調べるようになった。次第にメキシコについても興味を持つようになった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	5	スカイプで、英語・日本語・スペイン語を少しずつ使いながら仲良くなり、ギターに合わせて歌ったり、世間話をしたりして楽しく交流した。フェイスブックを使った日常的な個人交流も行われた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	人数が少人数のため、分担もしやすく、一人一人が責任を持って制作に取り組んでいた。
学習を追究する意欲	B	4	相手国の文化について話をしていくうちに、相手国についての興味・関心が増しそのことが意欲につながった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	自分の国を象徴する建物をよく観察することによって、より細かい部分を伝えようと努力することができた。
作品を鑑賞する力	B	4	自国と相手国の色使いの違いや、描いたモチーフの違いを中心に鑑賞し、感想を述べながらみんなで話し合った。